

環境経営レポート

(対象期間：令和6年5月1日～令和7年4月30日)



発行日 令和 7年 5月 1日

長野建設株式会社



～ 環境経営方針 ～



基本理念

長野建設株式会社は、地域環境の維持改善が我々に課せられた重要な課題の一つであることを認識し、企業活動を通じて自然エネルギーの節約及び地球環境の保全に努めます。

環境経営方針

当社は事業活動が与える環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、環境経営活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を常に認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境保全への積極的な取り組みと継続的な環境負荷の削減を図ります。

当社の事業活動に関わる環境関連の法令、徳島県条例、阿南市条例、その他法令等を遵守します。

3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組み、定期的な見直し、改善を行います。

環境経

二酸化炭素排出量の削減

水使用量の削減

廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進

事務所周辺の清掃等社会貢献（ロードアドプト等）

環境に配慮した商品及びサービスの提供ならびに施工

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直す環境経営システムを推進します。



作成日 平成21年 8月15日

改訂日 令和 2年 5月 1日

代表取締役 長野 純也

認証・登録対象範囲

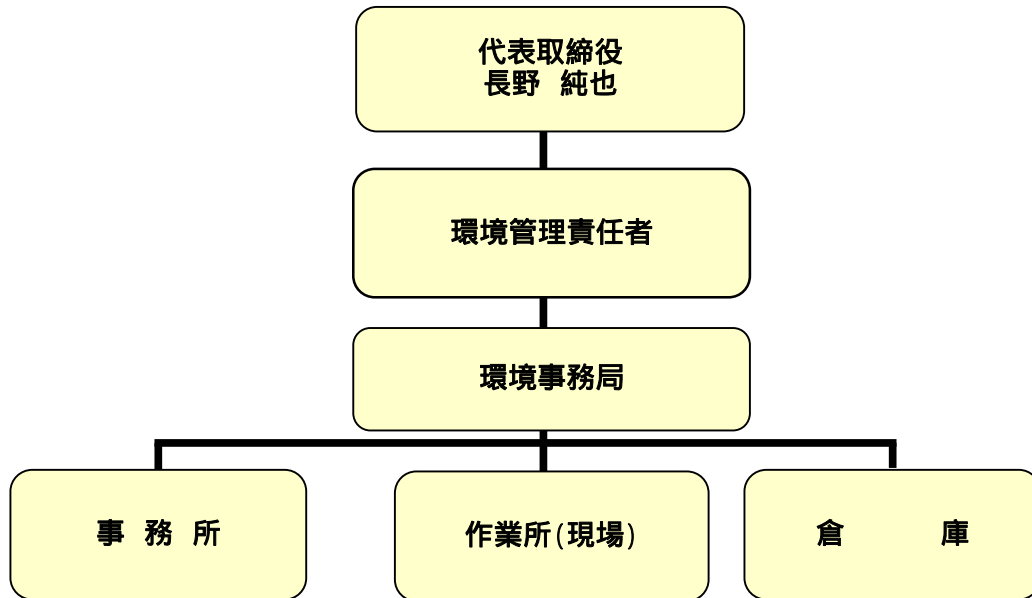
- (1) 全組織・全活動を対象とする。
- (2) 対象期間：令和6年5月1日～令和7年4月30日

事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者
株式会社 長野建設株式会社
代表取締役 長野 純也
- (2) 所在地
本社：徳島県阿南市津乃峰町新浜1-22
倉庫：徳島県阿南市津乃峰町新浜44-1
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 長野純也
環境管理事務局 長野建設株式会社
連絡先 TEL (0884)-28-1524
- (4) 事業の概要
建設業 土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ 工事業
水道施設、解体、管、鉄筋、造園
- (5) 当社が保有する許可の内容
 - 1) 建設業の許可
許可内容 土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ、水道施設、解体
工事業
有効期限 令和3年7月15日から令和8年7月14日まで
許可番号 徳島県知事許可(特-03)第001284号
許可内容 管、鉄筋、造園 工事業
有効期限 令和3年7月15日から令和8年7月14日まで
許可番号 徳島県知事許可(般-03)第001284号
 - 2) 産業廃棄物収集運搬業許可
許可内容 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、がれき類、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上6品目
有効期限 令和5年9月4日から令和10年8月11日まで
許可番号 徳島県 3600103397

但し、令和6年度においては、排出事業者から委託されて収集運搬した実績は
ありませんでした。従って現状では、この業についてはE A 2 1 認証登録の対象
範囲外となっております。
- (6) 事業の規模
従業員数(役員等も含む) 7名
本社建物延べ床面積 68
倉庫・資機材置場面積 1,914 m²
売上高(令和6年度) 111 百万円

長野建設株式会社 環境経営システム組織図



役 割 ・ 責 任 ・ 権 限	
推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 2 回達成状況の確認及び未達成項目の改善策の検討
社長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者の配置 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標の設定を承認、環境経営レポートの承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・ 法規制等の要求事項登録簿を承認、遵守結果の承認 ・ 環境経営活動実施計画書を承認、環境経営レポートの確認 ・ 環境経営の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 「環境関連法規等チェックリスト」の作成、遵守チェック ・ 環境経営目標・環境経営実施計画書原案の作成、環境経営レポートの作成 ・ 環境経営実施計画の実績集計 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営システムの実施 ・ 自部門における環境経営方針の周知 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

環境経営目標及び環境経営計画の策定

□環境経営目標（基準年度より、1%毎の削減を目標とする）

【事務所】

項 目	単位	【基準年度】 令和4年度 ＜実績＞	令和5年度 ＜目標＞	令和6年度 ＜目標＞	令和7年度 ＜目標＞
二酸化炭素排出量	(kg-CO2)	3,122	3,091	3,060	3,028
電力使用量	(kWh/年)	4,399	4,355	4,311	4,267
燃料（ガソリン）	(L/年)	485	480	475	470
廃棄物排出量					
一般廃棄物	(kg/年)	139	138	136	135
水使用量	(m3/年)	114	113	112	111
清掃等社会貢献	回	3	3	3	3

【作業所（現場）、倉庫】

項 目	単位	【基準年度】 令和4年度 ＜実績＞	令和5年度 ＜目標＞	令和6年度 ＜目標＞	令和7年度 ＜目標＞
二酸化炭素排出量	(kg-CO2)	55,436	54,882	54,327	53,773
電力使用量	(kWh/年)	3,818	3,780	3,742	3,703
燃料（ガソリン）	(L/年)	6,548	6,483	6,417	6,352
燃料（軽油）	(L/年)	14,927	14,778	14,628	14,479
廃棄物排出量					
産業廃棄物	(t/年)	653	646	640	633
リサイクル率	(%)	100	100	100	100
水使用量	(m3/年)	47	47	47	46
環境配慮商品・サービスの提供並びに施工	(%)	100	100	100	100
講習等への積極的参加	(%)	100	100	100	100

※・CO2換算係数0.454kg-CO2/kWh（四国電力 令和4年度実績）を用いた

- ・産業廃棄物の達成目標についてはリサイクル率を目標値とする
- ・化学物質は使用していないので目標は設定していない

環境経営目標及び環境経営計画の策定

環境経営目標とその実績 令和6年度(令和6年5月～令和7年4月)

(目標達成率90%以上を目標達成とする)

【事務所】

項目	単位	令和6年度 <目標>	令和6年度 <実績>	目標達成率	目標達成状況 (90%以上)
二酸化炭素排出量	(kg-CO2)	3,060	2,497	122.5%	達成
電力使用量	(kWh/年)	4,311	3,304	130.5%	達成
燃料(ガソリン)	(L/年)	475	430	110.5%	達成
廃棄物排出量					
一般廃棄物	(kg/年)	136	67	202.6%	達成
水使用量	(m3/年)	112	124	90.3%	達成
清掃等社会貢献	回	3	3	100.0%	達成

【作業所(現場)、倉庫】

項目	単位	令和6年度 <目標>	令和6年度 <実績>	目標達成率	目標達成状況 (90%以上)
二酸化炭素排出量	(kg-CO2)	54,327	50,626	107.3%	達成
電力使用量	(kWh/年)	3,742	1,552	241.1%	達成
燃料(ガソリン)	(L/年)	6,417	2,092	306.8%	達成
燃料(軽油)	(L/年)	14,628	17,468	83.7%	未達成
廃棄物排出量					
産業廃棄物	(t/年)	640	307.13		
リサイクル率	(%)	100	100.0	100.0%	達成
水使用量	(m3/年)	47	5	940.0%	達成
環境配慮商品・サービスの提供並びに施工	(%)	100	100	100.0%	達成
講習等への積極的参加	(%)	100	100	100	達成

CO2換算係数0.454kg-CO2/kWh(四国電力 令和4年度実績)を用いた

産業廃棄物の達成目標についてはリサイクル率を目標値とする

目標達成状況90%以下の項目については見直しを行う

評価

事務所での項目については、目標達成することができた。作業所(現場、倉庫)においては軽油の項目が未達成となった。原因としては、大谷川の工事での軽油の使用の増加はバックホウの使用によるものがある。以上の原因により、現場での未達成項目が見られるが現場条件等によるものであり致し方ないものであった。事務所の目標は達成できているため今後も継続して目標達成できるよう努める。

令和6年度環境経営実施書

(令和6年5月～令和7年4月)

重点テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール												目標達成状況	評価・指示
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
環境目標																
各重点項目	二酸化炭素排出量削減	長野純也	→												○	削減目標達成。
	一般廃棄物排出量削減		→													削減目標達成。
	総排水量 水使用量 削減		→												○	削減目標達成。
	廃棄物排出量削減		→												○	目標達成。リサイクル業者への搬出
	地域貢献		→													目標達成。ボランティアへの積極的参加
	環境配慮商品・サービスの提供並びに施工		→													目標達成。
環境活動計画																
電力使用量の削減	夏場の冷房温度を下限28 に設定する	長野純也	→													削減目標成。
	冬場の暖房温度を上限22 に設定する		→													本社、事務所の冷房、暖房温度の管理の徹底。
	照明機器、クーラー、窓の掃除を年1回行う		→													電力使用時間の短縮を心がける。
	パソコン、コピー機等を使用しないときは、電源を切る		→													今後も継続し実施する。
	現場での仮設電力の管理の徹底		→												○	仮設電力の管理を徹底し無駄な使用をしない。
燃料使用量の削減	車・重機のアイドルストップの徹底を行う	長野純也	→												×	目標未達成。軽油削減に努める。
上水使用量の削減	ストッパー等の使用		→												○	目標達成。節水に努める。
廃棄物排出量の削減	廃棄物発生量の抑制に努める		→												○	目標達成。発生量の削減とリサイクルの推進を継続する。
地域貢献	社内の4S活動を推進する		→													目標達成。
	会社周辺の清掃美化活動を推進する		→													目標達成。計画的なアドプトの実施。
環境配慮商品・サービスの提供並びに施工	積極的な再生資源の利用促進 排ガス対策型、低騒音型建設機械の使用		→												○	目標達成。今後も継続する。
講習等への積極的参加	CPDS講習の受講 技能講習、特別教育等の技能取得		→												○	目標達成。

達成状況 十分出来ている ほぼ出来ている まだ不十分である ×出来ていない

令和7年度環境経営(中間)実施書 (令和7年5月～令和8年4月) (次年度計画)

重点テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール												目標達成状況	評価・指示	
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
環境目標																	
各重点項目	二酸化炭素排出量削減	長野純也															
	一般廃棄物排出量削減																
	水使用量 削減																
	廃棄物排出量削減																
	地域貢献																
	環境配慮商品・サービスの提供並びに施工																
環境活動計画																	
電力使用量の削減	夏場の冷房温度を下限28 に設定する	長野純也			→												
	冬場の暖房温度を上限22 に設定する									→							
	照明機器、クーラー、窓の掃除を年1回行う									→							
	休憩時間は事務所の消灯を実施する													→			
燃料使用量の削減	車・重機のアイドリングストップの徹底を行う	長野純也												→			
上水使用量の削減	ストッパー等の使用													→			
廃棄物排出量の削減	廃棄物発生量の抑制に努める														→		
	地域貢献		社内の4S活動を推進する												→		
環境配慮商品・サービスの提供並びに施工	積極的な再生資源の利用促進	長野純也												→			
	排ガス対策型、低騒音型建設機械の使用													→			
講習等への積極的参加	CPDS講習の受講	長野純也												→			
	技能講習、特別教育等の技能取得													→			

達成状況 十分出来ている ほぼ出来ている まだ不十分である ×出来ていない

主要な環境経営計画の内容及び取組み結果の評価（令和 6年5月～ 7年4月）

取 組 み 計 画	達 成 状 況	評 価（結果と次年度の取組）
電力の削減（kWh） ・ エアコンの温度設定 事務所：冷房 28 暖房 22 現場：冷房 28 暖房 22 ・ 不要時の消灯	目 標： 8,053 実 績： 4,856 達成率： 165.8%	削減目標達成。 本社事務所及び現場とも目標達成できた。これからも無駄な照明はこまめに消して節電に努め、エアコンも適切な温度を心がけるようにする。
自動車燃料の削減（L） ・ アイドリングストップ運動 ・ エコドライブの実施	目 標： 21,520 実 績： 19,990 達成率： 107.7%	削減目標達成。 本社事務所及び現場でのガソリン、軽油の使用量とも目標達成できた。現場での使用量は工種や規模により大きく増減するため一概に比較はできないが、エコドライブ等の徹底により次年度以降も目標達成できるよう取組む。
節水 ・ 節水の呼びかけ	目 標： 159 実 績： 129 達成率： 123.3%	削減目標達成。
-1 一般廃棄物の削減 ・ 配布資料の削減 ・ 裏紙の使用 ・ 分別回収による古紙リサイクル	目 標： 136 実 績： 67 達成率： 202.6%	目標達成。 リサイクル、リユースを推進し発生量の削減に努める。
-2 産業廃棄物の削減 ・ リサイクルの推進 ・ 発生量の抑制	目 標： 100 実 績： 100 達成率： 100.0%	削減目標達成。 全ての発生廃材を産業廃棄物中間処理施設へ搬出することができた。
地域貢献 ・ アドプトの実施 ・ 清掃ボランティアへの積極的参加	目 標： 3 実 績： 3 達成率： 100.0%	目標達成。 このまま継続する。
環境配慮商品・サービスの提供 並びに施工 ・ 県産木材の使用	目 標： 100 実 績： 100 達成率： 100.0%	目標達成。 このまま継続する。
講習等への積極的参加 ・ CPDS講習の受講 ・ 技能講習、特別教育等の技能取得 (CPDS10pt以上/年取得：1技術者につき)	目 標： 100 実 績： 100 達成率： 100.0%	目標達成。 このまま継続する。法令等の改正に注視し必要な講習等の行う。現場管理者だけでなく作業従事者についても同様に行う。

達成率90%以上で目標達成とする。

次年度の取組み

事務所及び現場での削減目標はおおむね達成することができたが、大谷川の現場(作業所)の軽油の使用量が目標未達成であった。次年度は、受注した工事内容等によるものが大きいと数字的な目標にとらわれず現場従事者全員の意識の徹底により、電力及び液体燃料の無駄な使用が無いよう徹底する。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

関連法規制と遵守の状況

法規制等の名称	当社の対応	遵守状況の確認
廃棄物		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物	委託契約書の締結とマニフェストの交付及び保管 等	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 一般廃棄物	分別排出の厳守	遵守
建設リサイクル法	対象工事の届出及び分別解体、再資源化の促進	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処分	遵守
化学物質		
ダイオキシン類対策特別措置法	対象工事の事前調査、作業計画の作成及び届出	該当無し
労働安全衛生法	対象工事開始14日前までの届出	該当無し
廃PCB処理法	保管・処理状況の届出及び適正処分	該当無し
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	委任確認書、引取証明書の受理と写しの保管 第一種特定製品（業務用、建設機械エアコン） の簡易点検実施 1回/3月以上	遵守
大気汚染		
大気汚染防止法	石綿除去工事の届出及び適正施工	該当無し
労働安全衛生法 石綿障害予防規則	石綿除去工事の届出及び適正施工	該当無し
オフロード法	基準適合機械の使用	遵守
水質汚濁		
浄化槽法	適正排水及び維持管理	遵守
騒音・振動		
騒音規制法	指定作業の届出	遵守
振動規制法	指定作業の届出	遵守
その他		
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出の抑制に努める	遵守
徳島県生活環境保全条例	騒音発生施設の設置届	遵守
阿南市環境基本条例	環境の保全に努める	遵守

違反訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

近隣住民からの指摘・苦情も特になく、訴訟等もありません。

代表者による全体の評価と見直し指示

(適切性、妥当性、有効性の確認)

見直日 R7.5.1

代表者名 長野 純也

見直しに必要な情報	変更の必要性の有無・指示事項	
(取り組み状況の報告)	(コメント・提案)	(代表者)
<p>[取組状況の評価結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 法的要求事項の遵守状況 是正及び予防処置の状況 前回までの指摘事項の改善他 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 法的要求事項の遵守 法的要求は満足している。 是正及び予防措置 <p>EA21推進会議(中間)で目標達成状況の確認及び下半期における課題のを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回までの指摘事項の改善 教育訓練については、オンライン講習等を活用したCPDS講習等への参加により目標を達成することができた。これからも、社員の技能講習や特別教育への積極的に参加するよう努める。 	<p>[環境経営方針]</p> <p>特になし</p> <hr/> <p>[環境経営目標及び環境経営計画]</p> <p>現場での二酸化炭素排出量については、施工前に現場後毎の使用予定数量を算出し予定数量を超えないよう液化燃料等の削減に努める。</p>	<p>[環境経営方針]</p> <p>特になし</p> <hr/> <p>変更の必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <hr/> <p>[環境経営目標及び環境経営計画]</p> <p>近年の発注状況の内容や条件に応じた社内環境を整備し、工事の受注並びに環境経営目標を達成できるよう努める。</p> <hr/> <p>変更の必要性： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>
<p>[目標の達成度]</p> <p>事務所の二酸化炭素削減目標はおおむね達成できたが、現場では軽油の項目が目標未達成となった。工事内容や現場環境によるものであり致し方ないものであった。</p>	<p>[実施体制他システムの各要素]</p> <p>特になし</p>	<p>[実施体制他システムの各要素]</p> <p>環境経営目標達成することにより、経営状況の向上、近隣環境への負荷の低減となるよう社員一丸となって取組む。</p>
<p>[周囲の変化状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部コミュニケーション 法的要求事項の動向他 社会情勢への対応 	<p>適切性：変化している周囲の状況等を勘案してEMSが適切か 妥当性：EA21ガイドラインの要求事項を満たす上で妥当であるか 有効性：パフォーマンスの継続的改善及び順法性の確保等に有効であるか</p>	

～ 環境活動 ～

ロードアドプト：県道285号線 戎山中林富岡港線



～ ロードアドプト ～

ロードアドプト

場所：県道285号戎山富岡港線

